

そよげ風

山口市立小郡小学校
No.25 学校だより
平成23年12月 1日

研究大会を終えて・・・小郡の底力を実感

校長 上田 保明

- 朝、バス停で方向がわからず通りがかりの中学生に尋ねました。すると自分たちが案内すると言ってくれました。とても素敵な中学1年生でした。山口県の、小郡中の子供たちの全体印象がとても素敵になりました。
- 朝、道路に立ってくださったり、校内の案内をしてくださったりしたPTAの方々、学校をびかびかにしてくださった校務員さんなどたくさんの方に感謝。
- 朝の音読タイム・・・すてきな取組でした。勉強になりました。
- とてもあたたかい雰囲気です。学習規律もきちんとしていて好印象でした。
- どの先生もしっかりとした教材研究の中、授業をされていたところがよく伝わってきました。参加者の少なかったのが残念でした。もっと多くの方に参観していただきたかったです。
- 鹿児島県から参加しました。児童の一人読みから話し合い（発表）、学び合いと、子供たちがどんどん授業を進めていく、意見を出しあっていく姿、すばらしいと思いました。
- 子供たちの心をガッチリとつかんでの授業でした。子供たちの顔、姿を見て、「私もこんな授業がしたい！」と心底感じました。見ている方もグッと引き込まれ、あっという間にすぎた45分でした。ありがとうございました。実は私、教師をやめたいと思っていました。でも、もう一度がんばってみます。そんな一日でした。来てよかったです。
- 図書室がすてき。とくに図書ボランティアの方の活躍がすばらしいです。特殊才能ですね。参考にさせていただきます。
- 福田先生のピアノコンサートは心まで美しくなるような感じがしました。富山先生のお話はとてもわかりやすく、授業を見直そうと思えました。宮西先生の講演はおもしろくて感動するだけではなく言葉の大切さも感じました。
- PTAの方、たいへんお世話になりました。寒いときに温かいお茶、コーヒー、本当にありがたかったです。ありがとうございました。

北は福島県、山形県、南は鹿児島から300名（県外から100名）を超える先生方をお迎えして、25日（金）に第50回全国国語科教育研究大会を開催しました。上記は参観いただいた方々のアンケートの一部です。お読みいただきますと地域力、PTA力、子供たちの力、教職員の力等ご理解いただけ、筆下手な私が駄弁をろうするまでもないと思い掲載し、今月の私の責に代えます。皆様、よい年をお迎えください。

11月を振り返って

11月の児童のがんばりと感動を伝えたいと思います。

校内音楽会



11月2日（水）に校内音楽会が多数の保護者参観のもと、盛大に開催されました。子どもたちは、この日に向けて、朝や昼休みにも練習に取り組みました。

低学年ではリズムに、中学年では旋律に、高学年では、音の重なりや和声に重点を置いた発表となりました。

1年生は、6年生の演奏のすばらしさに驚きながら、あんなになりたいと夢ももったことでしょう。このように、互いの演奏を聴くことによって、音楽のよさや美しさを感じ取り、発表することの喜びを感じ合う音楽会となりました。心温まる拍手をありがとうございました。

校訓碑除幕式

11月7日（月）に校訓碑の除幕式を、5・6年生と全教職員が参加して実施しました。

本校の伝統ある校訓は、「温(おん)」「強(ごう)」「活(かつ)」です。この校訓には、「思いやりのある子=温」「がんばりぬく子=強」「進んで学ぶ子=活」という意味をもち、こんな子どもに育ててほしいという願いが込められています。この願いは、私たち教職員の願いであると同時に、保護者・地域の願いでもあり、そして、これからの子ども達の成長の源でもあります。

これからの子ども達の成長を支え、心優しく、忍耐をもち、向上心を持つ子どもの育成に、家庭・地域社会と連携をとりながら教育活動を推進していきたいと考えております。



全校計算大会



11月10日（木）に「全校計算大会」を「朝の活動」の時間に実施しました。子ども一人ひとりが目標を決め、その目標に向けて計算問題に取り組みました。

昔から、「読み・書き・そろばん」と言われるとおり、計算は、基礎学力のひとつです。頭脳の柔らかいこの時期に計算問題に取り組み、計算力を高めることは非常に価値のあることです。繰り返し練習することによって正確さを高め、早く計算ができるようになってほしいものです。でも、最後まであきらめずに自分の目標に向けて、日々努力できる子どもになってほしいというもう一つの願いも

あります。12月には、「全校漢字大会」もあります。努力を嫌がらない子どもたちを育てていきたいと思っております。

持久走全校練習

12月8日（木）開催予定の校内持久走大会に向けて、持久走の全校練習が11月14日（月）から始まりました。

「今年は〇位をめざすぞ。」「タイムは〇分〇秒をめざすぞ。」と目標はそれぞれ違いますが、やる気のあふれる練習となっています。大会当日、時間がありましたら、ぜひ、応援にご来校いただき、懸命に走る姿にご声援をよろしくお願いいたします。



第50回全国国語科教育研究大会-山口大会-

全国各地から300名余の参加者を迎え、11月25日（金）に全国国語科教育研究大会を盛大に開催いたしました。

当日は、小郡小学校18学級での公開授業、ピアニスト「福田直樹」先生によるピアノコンサート、研究協議会、文部科学省の「富山哲也先生」による講評・講演、そして絵本作家「宮西達也」先生による記念講演等と、内容の充実した、『ことばの教育を語り合う』という大会となりました。

公開授業

本校の上田保明校長をはじめとした全国で活躍されている7名の先生、県内市内から山口県を代表される6名の先生、そして小郡小学校から5名の教員による公開授業とピアニスト福田直樹先生の「音楽とことば」の公開授業が実施されました。

上田保明校長は1年の「たぬきの糸車」の授業を行いました。本物の糸車と障子を使い、目玉のペープサートで目玉の動きを再現させる場面も取り入れた、臨場感あふれる授業となりました。子どもたちも校長先生を見入るように授業に取り組んでいました。

大会前には、事前授業で学級に入り、子どもたちの学習の様子を把握された、全国や県・市内の先生もおられました。

また、事前授業のできなかったクラスも初めての子どもたちとの対面ではなかったかのような、ふれあいと対話のある授業となりました。さすが実績のある先生方の授業です。子どもたちにとってとても思い出に残る1時間となりました。



研究協議会



午前中の公開授業を参観して、その公開授業を話題の中心に、いろいろな考えを出し合いながら、よりよい授業ができるように話し合うのが「研究協議会」です。

どの研究協議会も活発な協議となりました。授業者の意図や工夫について、質問も交えながら協議内容が深められていきました。

参観者は、授業についての感想を述べたり、自分の実践を紹介したりする時間となりました。

また、最後には、指導者によるお話もあり、あっという間の1時間でした。

記念講演

午前中の最後には、ピアニスト「福田直樹先生」の音楽とことばをテーマにしたミニピアノコンサートがありました。ピアノの音色が心にしみました。

午後は、絵本作家「宮西達也先生」による『ティラノサウルスの絵本とことば』という記念講演がありました。宮西達也先生は、来年中の講演スケジュールも埋まっているほどの大人気の絵本作家です。

登場人物になりきった声での読み聞かせ、ユーモアあふれる口調、やさしさと思いやりにあふれたことばに魅了されました。絵本にかける思い、絵や文を創っていく過程などについて熱く語られた1時間20分でした。最後に東北大震災のボランティアに行かれたときの体験のお話は、会場に涙を誘いました。翌日、小郡ふれあいセンターでも講演をされました。



☆12月の行事予定

日	曜	行 事 等
1	木	集金日(給食・学年) 4年学年PTA活動
4	日	ロボットコンテスト(体育館使用)
5	月	ALT来校 全校漢字大会
6	火	全校朝会
8	木	校内持久走大会
13	火	ALT来校
19	月	ALT来校
20	火	学期末個人懇談会(～21日)
22	木	終業式
23	金	天皇誕生日
29	木	年末年始の休日(～1月3日)

☆1月の行事予定

日	曜	行 事 等
9	月	成人の日
10	火	始業式 給食開始
12	木	給食集金日 ALT来校
16	月	ALT来校
17	火	にこにこタイム
20	金	人権参観日 教育講演会
23	月	委員会活動
24	火	ALT来校
26	木	学年集金日
27	金	学友区児童会
30	月	クラブ活動 ALT来校



ご支援、ご協力 ありがとうございます。

天気にも恵まれ、PTAの皆さんのご協力に支えられ、1月25日金曜日、『第50回全国国語科教育研究大会』を、約300名の参加者をお迎えし、盛大に、意義あるものに、無事に開催することができました。去年、設立された「おやじの会」のみなさんからも支えられ、私たち教員は、小郡小学校の子ども達の立派な姿を、一生懸命学習に取り組む子ども達の姿を、参加者のみなさんに見ていただくことに専念できました。

PTAのみなさんやおやじの会の会員のみなさんのご協力、ご支援がなければ、大会の運営はできませんでした。みなさんのご協力に、感謝、感謝の二文字に尽きます。心よりお礼を申し上げます。ありがとうございました。



主催者のひとつ、全国創造国語研究会より大会開催の感謝状が、PTA、おやじの会、小郡小学校に感謝の言葉とともに贈られました。

写真は、図書ボランティアの方々の作品です。(表紙のアンケートから)



《大会ひとこま》

300名の参加者のざわめきが、1校時開始のチャイムとともにシーンとしました。大会参加者も真剣に学ぼうとしていました。そして、授業者の心は、緊張で張り詰めていました。

今年一番に冷え込んだ大会当日の朝、大会参加者のみなさんを最初に出迎えてくださったのは、PTAのみなさんの笑顔でした。新山口駅から小郡小学校まで、周防下郷駅から小郡小学校まで、駅からポイントに立っていただきました。また、自家用車で来校される方々のために、主要交差点に看板をもって早目早目に道順を示していただきました。

おかげさまで、前日「周防下郷駅から小郡小学校まではどうやって行くのですか？」という問い合わせに対しても、「駅から学校までPTAの方が案内として立っています。」と答えることができました。また、大会アンケートにも「早朝、寒い中、駅から学校まで案内人がおられ、大変助かりました。本当にご苦労さまでした。PTAのみなさんの協力体制に感激しました。」との記述もありました。ありがとうございました。

そのほか、たくさんの方々に支えられました。「ありがとう」の感謝の気持ちをたくさんの方に伝えたいと思います。